

梅原眞隆 うめはら じんりゅう 佛教學者。明治十八年十一月十一日富山縣生孔、昭和四十一年七月七日歿（八八五—一九六六）。佛教大學卒。龍谷大學教授兼學監、顯真學苑主幹、本願寺勸學寮頭、參議院議員、顯真學會會長等歷任。



- 著書：『梅原隆乘著『霜月歌集』』（編、大正十二年十一月十五日京都親鸞聖人研究發行所）、『家』（大正十五年九月五日京都・中外出版株式會社「八想錄」）、『聖答』（昭和四年十月、二十日京都・親鸞聖人研究發行所）、『女性群像』（昭和八年二月十五日京都・一生堂書店「佛教婦人文庫」）、『皇太子聖德奉讚概説』（昭和八年十月、二十五日京都・顯真學苑出版部「顯真學苑研究叢書」）、『愚禿親鸞』（七版、昭和八年十一月、二十日京都・顯真學苑出版部）、『聖鑑』（昭和九年九月五日京都・顯真學苑出版部「顯真學苑修道叢書」）、『辨述名體鈔とその解説』（昭和十年十月、二十三日京都・顯真學苑出版部「顯真學苑研究叢書」）、『真宗綱要』（昭和十一年二月、二十日京都・顯真學苑出版部「顯真學苑修道叢書」）、『正信偈十講』（昭和十一年十一月十日京都・顯真學苑出版部）、『聖教講讀』（昭和十二年一月十日京都・顯真學苑出版部「顯真學苑修道叢書」）、『日本佛教親鸞聖人』（昭和十四年十月十一日敎學局「敎學叢書」）、『響音流篇』（昭和十六年二月一日京都・顯真學苑出版部「修道叢書」）、『眞京の護國性』（昭和十六年十一月五日京都・本願寺新報社）、『信仰と生活』（昭和十六年十一月二十日河出書房）、『日本佛教の性格』（昭和十八年十一月二十日京都・全人社）、『香光莊嚴』（昭和二十六年九月十日

京都・専長寺文書傳道部道發行所）、『愚光翁傳』（仏教文化研究会
編、昭和二十一年四月一日世界野書刊行協会「佛教文化シリーズ」）、
『宗教の生きる』（昭和四十年十一月十日白宮文館出版株式会社）、歌
集『曼珠沙華』（昭和四十二年四月一日京都・梅原主幹歌集刊行会）
等。

